

神仏、ご先祖、亡き方々に供えるもの

今年初めに、寺報、宗門雑誌「生きる」と一緒に、「ご法事のしおり」をお送りいたしました。その中にも、お供えについて、ご説明した部分があったと思います。

「花の香り、お香の薫りを仏に供養すべし（香華供養仏）」と、經典に書かれており、仏教徒は、それらを仏壇にお供えします。

さらに經典を読むことは「ご法味納受」と表現され、読経によって仏様や霊魂は栄養を得るとされます。いわば仏様の食事のようなものです。また、果物やお菓子などのお供え物には、実際エネルギー（カロリー）が含まれており、それも仏や霊魂の糧となります。しかし供養の中で、最も大切なものが、礼拝する者の気持ちではないでしょうか。

「感謝の念」はとても良い波長なので、その気持ちは、仏さまや霊魂にとつて、とてもよい供養になります。また、参拝者の「穏やかな心地よい気持ち」「楽しい気持ち」もよい供養になります。寺社では、よく「音楽、芸術」などが、奉納されますが、私は、それを味わった心地よさ、清らかな気持ち、楽しい気持ちの波長が、仏様や霊魂たちを喜ばせるのだと考えております。

開山忌では、各地で大活躍の伝統芸能・曲芸師の豊来家幸輝さんをお迎えします。USJ等のテーマパークだけでなく、全国各地で素晴らしい曲芸を披露されています。この機会にぜひ、伝統芸をお楽しみください。

笑いあり、驚きあり、その気持ちは、よい波長につながります。



今後の行事予定です

◎春季彼岸法要（先祖・故人追善法要）

三月二十日（金・祝） 午後四時

◎開山忌法要

四月二十五日（土） 連夜法要・午後四時

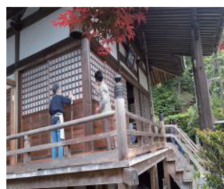
二十六日（日） 祥當法要
午前十一時、午後一時

◎心の塵を払う会（お掃除の会）

四月五日・十九日

五月三日・十七日
すべて午前九時〜

境内や本堂のお掃除の会です。気軽にご参加ください。掃除後は客殿でワイワイお茶タイムです。



◎お賽銭箱、修理しました

明治四十三年の銘。本堂火災消失の後、新本堂落慶の折に、設置されたものです。修理を重ねながら大切に伝えたいです。



あとがき

・住職（真人）

デジタル全盛の時代、お寺の在り方や業務との整合性に悩みあり、工夫あります。

・先住職（日駿）

穏やかに過ごしております。病院の定期健診でもいたって健康。ありがたいことです。

・寺庭婦人（早智子）

寒さには強いのですが、暑さは苦手です。春になり気温が上がり始めると、ややため息です。

・大志（徒弟）

志しても、なかなか体重は減らず。元々の体質と思いきや、周囲は食べすぎ飲みすぎとの指摘…。



法華寺
LINE公式アカウント
QRコードです。
是非ご登録を！